第8回　燒山山麓ヘリスキーツアー

93.4.3　　晴　　馬場

前日燒山温泉に宿泊した。快晴で中止にならずほっとする。大勢のスキー客が受付を待っている。ヘリにスキーを積むためひもでスキーとストックを結ぶ

八時三十分受付で100番のゼッケンをもらい雪上で待つ実行委員が先に出発する。私は、七、八番だ。ヘリは、三人乗りと六人乗りの二機だ。私の前の人が出発してからヘリは、エンジンを止め飛はなくなった。

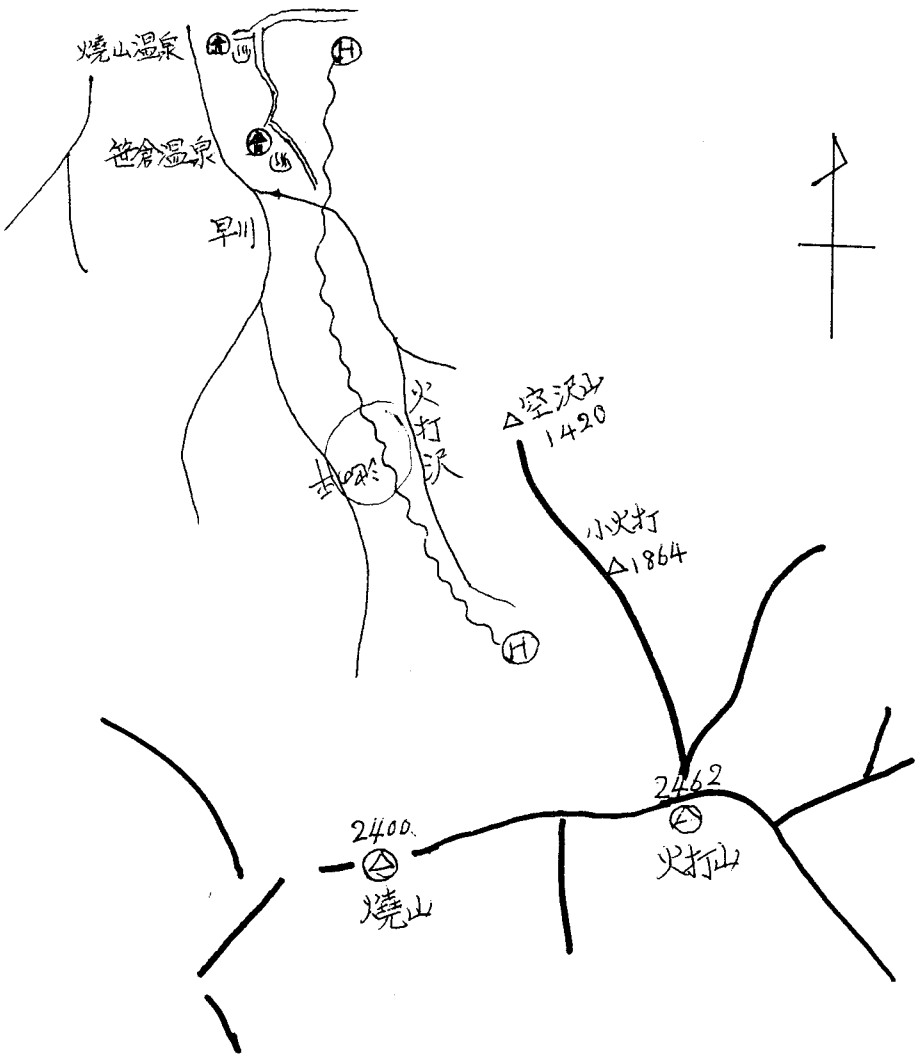
トランシーバで連絡している人の様子では、着陸地点が風が強くなったらしい。一時間以上待たされた。放送で実行委員長が着陸地点の高度を下げて実施することになった。三人乗りのヘリで出発しあっという間に雪上に着陸した。上の方から実行委員の人が滑り降りてきた。火打山から連らなる尾根より大分低く目的の1800Mでなく残念だ1400M地点あたりだ。

四五人がつぼ足で登りだした。係の人は、あすこの尾根までにして下さいと言った。私もシールを着けて登る。

着いた尾根は、風も弱く快晴で火打山、燒山の噴煙もはっきり見渡せた。しばらく休憩ヘリーボートまで滑り降りる。係の人に、団体で滑るのかと聞くと、自由に滑りたいという人が多いので各自自由に滑ってください。

しばらく滑ると、尾根の登りが続く私は、シールを張る。山スキーの人は少なくほとんどゲレンテスキーだ。

二十分位登行し898M地点でシールを外ずす。地形が複雑で雪もだんだん解けてきて滑り苦いルートは、トレースがはっきりついていて危険地帯はテープが張ってあった。やがて水田に着き平地を滑り受付でゼッケンを返し無料入浴券をもらい温泉で汗を流す。

コースタイム
フライト10:30　　着陸10:40　　尾根10:40〜11:10
受付　13:00

ルート図